

県内高等教育機関のあり方・魅力向上に関する調査業務仕様書

1 業務名称

県内高等教育機関のあり方・魅力向上に関する調査業務

2 業務概要と目的

人口減少や少子高齢化の急速な進展などにより、県内高等教育機関の学生募集を取り巻く状況は厳しさを増しており、県内高等教育機関への更なる進学者増に向けた取組みを進めていく必要がある。

本事業では、進学者ニーズに関する調査や、県外高等教育機関における学生募集に係る取組み事例などの研究等を実施し、富山県で学ぶ魅力の伝え方や効果的な学生募集の方法などについて検討するための基礎情報を収集することを目的とする。

3 履行期間

契約締結日から令和 7 年 2 月 28 日(金)まで (予定)

4 委託業務の内容

下記業務の内容を予定するが、提案の内容等により、県と受託者が協議のうえ決定する。

(1) 調査の企画・設計及び分析

県内高校に在籍する第 2 学年の生徒を対象に、進学先を決定する際の基準等の進学者ニーズに関する調査の企画・設計及び分析を実施すること。ただし、調査を企画・設計する際は、県内高校生が進学先を決める際の保護者の影響についても分析できるようにすること。

なお、調査方法は WEB アンケート調査とすること。

〈想定される調査項目〉

- ①希望する進路 ②受験校選択時に重要視する点 ③県内大学を希望した理由
④県内の大学を希望しない理由 ⑤学力が合う興味のある学部があったら受験したか ⑥それでも受験しない場合の理由 ⑦興味のある学問分野 等

※最終的な調査項目や分析については、県と受託者による協議のうえ決定します。

※成果物提出前に、本調査で得たデータや分析結果の提出を求める場合があります。

※調査票は、県から県内高等学校に配布します。

(2) 会議への出席及び報告

県と県内高等教育機関で実施する「官学連携による研究会議 (仮称)」※ (以下、「会議」という) に、下表のとおり出席し、4 (1) の結果や県外高等教育機関における学生募集に係る取組み事例や動向等について報告すること。なお、県内高等

教育機関の今後の学生募集の参考となるような内容にすること。

【会議実施予定】

会 議	開催時期（予定）	内 容
①	9月下旬～10月上旬	・（1）調査の中間報告 ・県外高等教育機関における学生募集に係る 取組み事例や動向等について報告
②	1月～2月	・（1）調査結果やその分析結果について報告

※県と県内高等教育機関が連携して、県内高校生への富山県で学ぶ魅力の伝え方や効果的な学生募集の方法などについて検討する会議

5 成果物

以下の成果物について、紙ベース3部及び電子データ（DVD-R）1部を提出するものとする。

①中間報告書（4（2）の①会議の会議資料として活用することを想定）

②調査結果及び分析結果報告書

- ・調査結果のローデータも提出すること
- ・サマリー、グラフ集及びクロス集計表等を作成すること

※成果物の名称や内容は、発注者と受託者との事前協議により詳細を決定する。

※電子データは原則として発注者が編集可能な形式（Word、Excel等）とする。

6 その他

- （1）本業務により作成し、提出した納品物の所有権及び著作権は、原則、富山県に帰属するものとし、富山県において自由に利用・編集・公開することができるものとする。
- （2）特許権、実用新案権、意匠権、商標権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利の対象となっている履行方法等を使用するときは、受託者がその使用に関する一切の責任を負うこと。
- （3）専任の担当者を配置し、県との打合せ等に出席させること。また、電話、メール等で迅速かつ確実に連絡が取れる体制とすること。
- （4）業務の実施に当たっては、委託者と必要な打合せを十分に行い、疑義がある場合には双方協議のうえ、業務を進めるものとする。
- （5）事業の実施にあたり、業務全体の詳細な工程表を速やかに作成し、県と協議すること。
- （6）この仕様書に定めのない事項については、必要に応じて県と協議するものとする。
- （7）本仕様書は、プロポーザル用であり、選定された契約候補者とは、内容を別途協議のうえ、契約を締結するものとし、契約内容等については、協議の中で、企画提案書等の内容から変更する場合がある。